

# 都市再生整備計画

もりぐちしなんぶ だい かいへんこう  
守口市南部地区(第1回変更)

おおさかふ もりぐちし  
大阪府 守口市

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	大阪府	市町村名	守口市	地区名	守口市南部地区	面積	201.5	ha							
計画期間	令和	4	年度	～	令和	6	年度	交付期間	令和	4	年度	～	令和	6	年度

**目標**  
 大目標：大阪モノレール延伸事業を活かした賑わいの創出と魅力ある公共空間の整備と活用  
 ・目標1：大阪モノレール延伸事業を契機としたまちのリニューアル  
 ・目標2：賑わいの創出と魅力向上  
 ・目標3：駅建設に伴う人口増に対応した防災機能の強化

**目標設定の根拠**  
 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)  
 大阪モノレール延伸事業は門真市駅から(仮称)瓜生堂駅までの間、延長約8.9kmを整備するもので、2029年の開業を目指しています。この延伸事業において、門真市駅と(仮称)門真南駅の間には大規模な商業施設の建設が予定されており、地域経済振興に大きく寄与することや、交通便利性の向上の観点から、本市と隣接する門真市(以下、両市という。)では、請願駅として中間駅を建設することを大阪府並びに大阪モノレール株式会社に要望し、令和4年3月には中間駅設置に関する都市計画変更手続きが完了する見込みとなっています。これまで両市で実施してきた新駅建設に伴う影響予測調査においても、大規模な商業施設の開業や大阪モノレール延伸事業の新駅の効果は、利便性向上の観点からマンションの建設や低未利用地の積極的活用などにより、人口は今後約10年で現在の約1.17倍と推定され、魅力ある公共空間の整備や防災力の強化が求められています。  
 そのため、都市計画マスタープランには『新駅等による社会的・経済的効果を最大化するよう当該周辺エリアに新たな都市施設の配置などを推進』と、立地適正化計画には『大阪モノレールの延伸及び新駅設置を契機として、周辺地域の魅力あるまちづくり』と掲げるなど、モノレール延伸を活かした賑わいの創出と魅力ある公共空間の整備と活用を目標としております。  
 現在、早くから都市化が進んだ当地区には、学校の統廃合により使用しなくなったポテンシャルの高い公的不動産が複数存在します。新駅建設のタイミングで、これらの土地をコミュニティ形成の場や公園・広場、防災拠点として有効活用することは、まちの賑わいの創出と魅力の向上、安全性・快適性などの居住環境の質の向上にプラスの相乗効果を与えることから、市の総合基本計画で定める将来都市像“いつまでも住み続けたいまち守口 暮らしやすさがちょうどええ”の実現に繋がります。

**まちづくりの経緯及び現況**  
 守口市南部地区は、高度成長期に大手家電メーカーの下請会社や紡績工場が数多く操業し、それに伴い地方から沢山の勤労青少年が集まり、住工混在地域として発展を成し遂げてきました。しかしながら、半世紀を経過する間に、公共施設を中心とした施設の老朽化が進み、さらに当時の青少年が高齢化し、まちの活気や賑わいが失われつつあります。また、少子化により学校の統廃合が進み、比較的大きなポテンシャルの高い公的不動産が点在しており、新たな土地利用が求められています。

**課題**  
 ・子育て世代等の定住促進  
 人口動向を分析すると、子育て世代が子どもの成長に伴って住まいを移す場合に市外に転出状況が見られます。公園や広場整備など住まいを取り巻く環境の整備が必要です。  
 ・人生100年時代を見据えた多様な人が過ごしやすいまちづくり  
 高齢化が進み、身体的な変化や家族構成の変化(単身化)により、外出やコミュニケーションの機会が減ることが懸念されます。若者、女性や高齢者、障がい者、外国人等多様な人々が社会で活躍しやすい環境を整えることが必要です。  
 ・防災のさらなる充実  
 高度成長期の急激な都市化により、都市計画が追いつかず、狭い道路や耐震性の低い木造住宅が多く存在します。災害に備え防災力の強化が必要です。  
 ・市民の守口への愛着・都市イメージの向上  
 生活利便性に加え、活動の場、自分らしく活躍できる場づくりが必要です。

**将来ビジョン(中長期)**  
**【総合計画】**  
 ・“コミュニティセンターを拠点としたコミュニティづくりの促進”を掲げ、コミュニティセンターを計画的に建て替えるとともに、学校閉鎖後の諸施設をコミュニティセンター付属の体育施設として活用するなど、地域コミュニティ活動活性化のための施設として有効活用することとしています。  
 ・“特色ある公園の整備”を掲げ、都市環境改善、運動及びレクリエーションの場となる健康増進公園、季節感を楽しめる景観形成、地域の文化伝承・発信の場、子どもの健全な育成の場、地域コミュニティ活動の拠点、防災性向上等の観点からボール遊びができる公園や一時避難場所としての機能を持つ特色ある公園整備を行うとしています。  
 ・“避難所の充実と災害時における防災情報の提供”を掲げ、避難所の資機材を整備するとともに、新たな避難所となる場所の確保を図るとしています。

**都市構造再編集集中支援事業の計画**  
 都市機能配置の考え方  
 ・本市南部地区は、本市の2つの都市核のうちの守口市核を中心拠点としており、立地適正化計画において、南部地区全域を居住誘導区域に、また地区の一部を都市機能誘導区域に位置づけられ、大阪モノレールの南伸及び新駅設置を契機とした周辺地域における魅力ある暮らしを実現するとしています。  
 ・魅力ある暮らしの実現に向けて、周辺地域の快適性及び利便性の向上、並びに防災機能の強化を図ることを目的に、既存ストックや公的不動産を活用し、コミュニティセンターや公園、防災倉庫などを整備します。

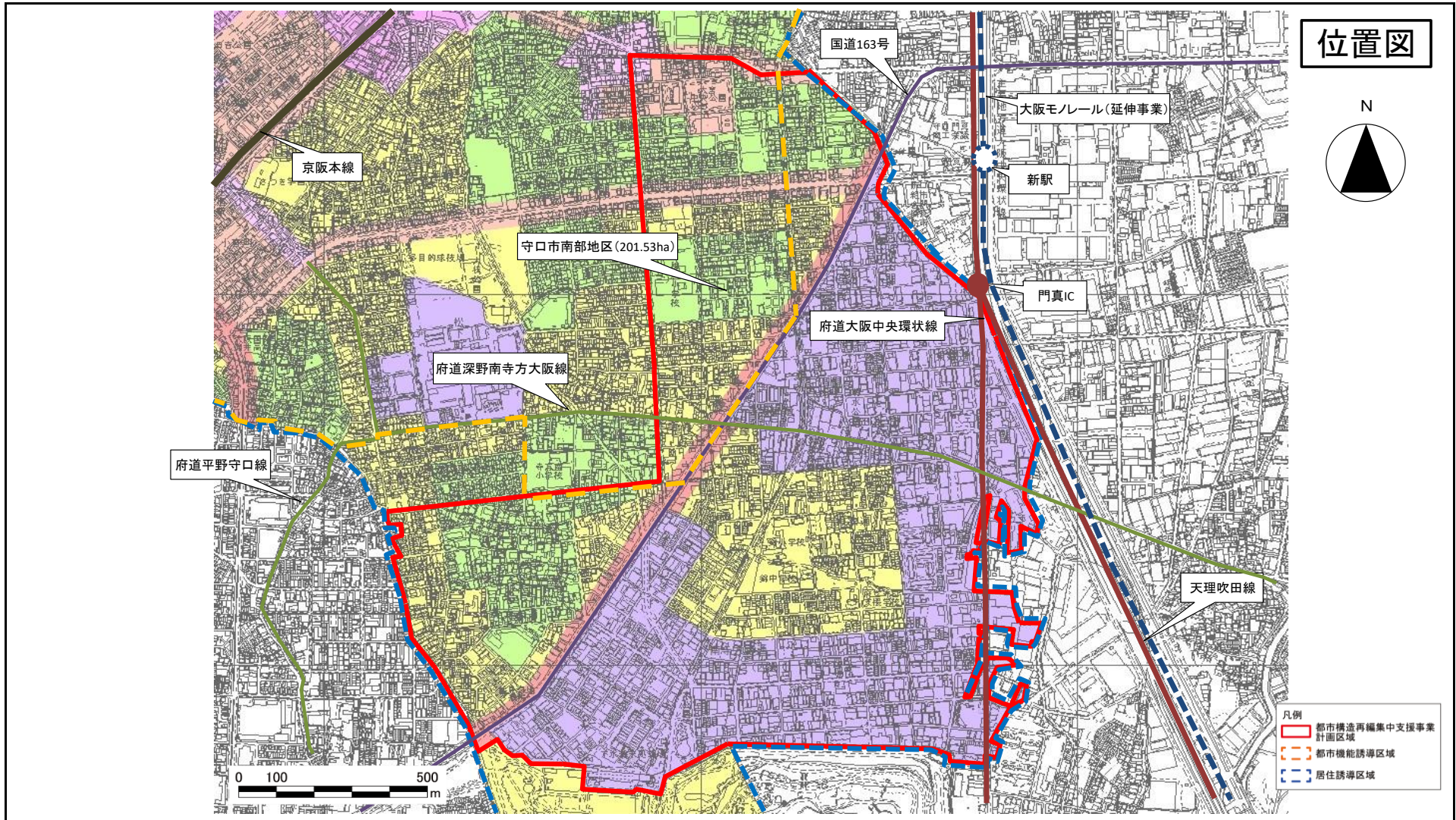
**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1年間の当該公園を利用したイベント回数	回/年	1年間の当該公園を利用したイベント回数	大阪モノレールを契機としたまちのリニューアル、賑わいの創出と守口南部地区の魅力向上	0回/年	R2	5回/年	R7
潤いのある快適な生活空間づくり(緑・花・公園)への満足度	%	市民アンケートにおける満足・やや満足の合計値	大阪モノレールを契機としたまちのリニューアル、賑わいの創出と守口南部地区の魅力向上	34.2%	R1	36.6%	R6
防災・減災対策の充実	%	市民アンケートにおける満足・やや満足の合計値	駅建設に伴う人口増に対応した防災機能の強化	30.7%	R1	42.2%	R6

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【大阪モノレール延伸事業を契機としたまちのリニューアル】 ・イベント等に活用できる公園を整備するとともに、老朽化した公共公益施設を廃止し新たに整備する。</p>	<p>【基幹事業】公園(菊水公園、世木公園、南小学校跡公園、橋波小学校跡公園、大宮中央公園) 【基幹事業】高次都市施設(錦地区コミュニティセンター) 【関連事業】大阪モノレール延伸事業</p>
<p>【賑わいの創出と魅力の向上】 ・人生100年時代を見据えた多様な人が過ごしやすいまちづくりを実現するため、外出やコミュニケーションの機会が増える都市環境の整備を行う。</p>	<p>【基幹事業】公園(菊水公園、世木公園、南小学校跡公園、橋波小学校跡公園、大宮中央公園) 【基幹事業】高質空間形成施設(西三荘ゆとり道) 【関連事業】市道南寺方92号線整備 【提案事業】既存建物活用事業(橋波地区多目的室)</p>
<p>【駅建設に伴う人口増に対応した防災機能の強化】 広域緊急路である大阪中央環状線へのアクセス道路府道深野南寺方大阪線沿いに防災備蓄拠点を整備する。 大阪モノレール延伸に伴う人口増を見据え一時避難場所を拡充する。</p>	<p>【基幹事業】地域生活基盤施設(防災備蓄倉庫) 【基幹事業】公園(菊水公園、南小学校跡公園、橋波小学校跡公園、大宮中央公園) 【関連事業】大阪モノレール延伸事業</p>
<p>その他</p>	



守口市南部地区(大阪府守口市)	面積	201.53 ha	区域	大宮通1~4丁目、菊水通1丁目の一部、菊水通2~4丁目、西郷通1~3丁目の一部、西郷通4丁目、東郷通1~3丁目、寺方本通1~4丁目、寺方錦通1~4丁目、南寺方中通1~3丁目、南寺方南通1~3丁目、南寺方東通1丁目の一部、南寺方東通2~6丁目
-----------------	----	-----------	----	--



守口市南部地区(大阪府守口市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大阪モノレール延伸事業を活かした賑わいの創出と魅力ある公共空間の整備と活用	代表的な指標	公園を利用したイベント回数(回/年)	0	(2年度)	→	5	(7年度)
			潤いのある快適な生活空間づくり(%)	34.2	(1年度)	→	36.6	(6年度)
			防災・減災対策の充実(%)	30.7	(1年度)	→	42.2	(6年度)

